



【ゲムシタピン+シスプラチン療法について】

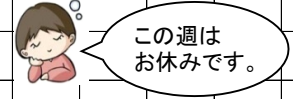


様

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
デキサート注 グラニセロン注	吐き気止めです	15分																							
ゲムシタピン注	抗がん剤です	30分																							
シスプラチン注	抗がん剤です	60分																							
ソルデム3A注	水分の点滴です	60分																							



腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。

😊 治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
自覚症状	発熱																							
	食欲不振・吐き気																							
	血管痛・静脈炎																							
	口内炎																							
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
	手足のしびれ																							
検査値	白血球減少																							
	赤血球減少(貧血)																							
	血小板減少																							
	腎機能低下																							
	肝機能低下																							



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 自動車運転等を行わないよう注意が必要です。主治医の指示に従ってください。
- * 抗がん剤投与および投与後一定期間は適切な避妊を行ってください。